

公衆衛生部門

受賞者： しまお 島尾 ただお 忠男 (91 歳)

公益財団法人結核予防会 評議員会会長、顧問



島尾忠男氏は、1948 年東京大学医学部卒業。在学中に農村における保健活動に関わり、結核や公衆衛生、疫学への深い関心から卒業後は結核予防会に入職した。都内の結核診療所で患者の診断、治療、集団検診に従事する傍ら、ツベルクリン反応検査の統計的な解析などを手掛け、わが国における結核疫学の先駆者として活躍した。

結核研究所では、呼吸器疾患の診療、教育、疫学、対策、現場と幅広く活動。結核病学会、公衆衛生学会等の学会では、結核研究、疫学および対策分野に携わる。結核予防会研究所長、理事長、会長を務め、公衆衛生審議会委員等の行政的責任を担った。

またスウェーデン留学の経験から、わが国における国際協力分野のパイオニアとして活躍。JICA 海外医療協力委員会の委員長、外務省関連の委員会、世界結核予防連合の理事及び議長、WHO の執行理事を務めた。現在も第 3 回日経アジア感染症会議の企画準備委員として関わっている。

エイズ予防財団や、たばこ関連の委員会の責任者としても活動を継続しており、国際保健医療学会の役員、理事長も歴任した。教育者としては全国各地の保健所医師・保健師に 60 年近く指導しており、1963 年より結核国際研修コースで 97 か国、2000 人以上の専門家育成に関わった。

2015 年 11 月には国際保健医療学会シンポジウムで、日本の結核対策と国民皆保険制度に関する論考を行った。また 2016 年 2 月には結核病学会誌に「日本の結核対策の特殊性—PPM、および医療機関への X 線装置の整備の過程」を発表。

91 歳である現在も結核予防会顧問として継続的に各種研究会等で発表を続けており、結核病学会や国際保健医療学会でも現役で活動している。

推薦者： 石川 信克 公益財団法人結核予防会結核研究所所長
中村 安秀 一般社団法人日本国際保健医療学会理事長
大阪大学教授